

友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ
津山洋学資料館友の会

2023 November No.17



友の会創立40周年記念祝賀会

CONTENTS

友の会創立40周年記念祝賀会 阿蘭陀料理のタベPART9	・・・2
友の会の思い出	・・・3
資料館細見 植栽整備活動の実施	
職員紹介	・・・4
薬草の小径から⑭ 山本博文先生追悼講演会・シンポジウムの開催 令和5年度後期企画展開催中 編集後記	

友の会創立40周年記念祝賀会 阿蘭陀料理の夕べ PART9

新型コロナウイルス禍のため、2年遅れとなりましたが、11月4日（土）ザ・シロヤマテラス津山別邸にて70名の方々にご参加いただき、友の会創立40周年記念祝賀会「阿蘭陀料理の夕べPART9」を開催いたしました。

下山純正名誉館長と小島徹館長の対談「すべてはそこから始まった―阿蘭陀料理の夕べは新館建設の胎動か」の後、『紅毛雑話』から再現されたオランダ料理のフルコースに皆さん舌つづみを打っておられました。



小原龍二会長より開催のご挨拶

料理のご紹介(一部)



Gekookt Vis(コクヒス)

鯛の小麦粉付けバター炒め焼き



Braadeendvogel(ブラートルエントホーゲル)

炙り焼きロースト鴨をオレンジ風味に栗と煮込んだもの



下山名誉館長と小島館長の対談の様子

阿蘭陀料理の夕べを始めたきっかけや、苦労された話など友の会の活動の歴史を語っていただきました。

参加者のご感想(一部)

とても楽しい時間を過ごさせていただききました。友の会のお世話を下さる方々、顧問の先生、諸先生方、いろいろご説明して下さりありがとうございます。お料理の方もおいしくいただけ、料理長のご説明もありがとうございます。

初めて参加させていただきました。お料理はとってもおいしかったです。とても手がこんでいて胃にも優しい味つけだったと思います。懐かしい人とも会うことができうれしかったです。毎年こんな会を開いていただいてもいいかな。

友人に声をかけてもらい初めての参加でしたが、ゆっくり楽しませてもらいました。ぜひ会員になりたいと思いました。ありがとうございます。

今日はお世話になりました。初めての「オランダ料理の夕べ」に参加させていただき、40周年のあゆみも聞くことが出来、勉強になりました。今後ともよろしくお願い致します。

友の会の思い

会員 徳広 千恵さん

友の会の皆さまこんにちは。高知県在住の会員、徳広千恵です。

津山市で6年間勤務していた時、縁あって友の会のお誘いを受け、会員になりました。企画展やイベント等に参加させていただき、改めて津山の歴史や洋学など、学問のさきがけの偉大さ、奥深さを学びました。ヒンデローペンの作品作りでは、中学校卒業以来、久しぶりに絵筆を握りました。絵の具の薄め具合や繊細な線の描き方等緊張しましたが、永江絹子先生の丁寧なご指導のもと、なんとか、かわいい作品に仕上がりました。マスク入れにするのはもったいなく、職場のすぐ見えるところに飾って、疲れた時などに顔をあげて見て癒されていました。曲がった線や本来ないはずの枝分かれした線もご愛嬌です。

定期的に送ってくださる友の会通信や催し物のご案内などで懐かしく、津山のことを思い出しています。



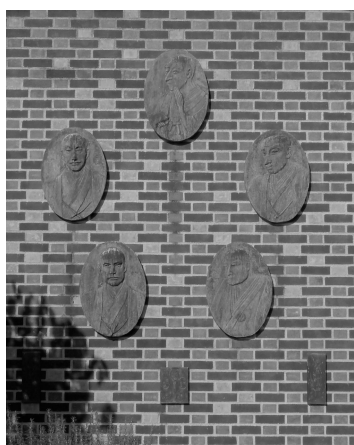
資料館細見 ～多用される五角形～

資料館の建物は、部屋の形が独特で、ホールも常設展示室も五角形です。これは久原濤子さんの「津山洋学五峰」レリーフ像がモチーフとなっています。さらには、宇田川榕菴が研究した植物の世界でも、五角形のものが多く見られます。



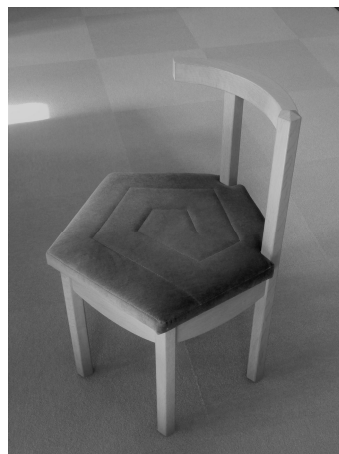
常設展示室の天井

設計された富田玲子さんによると、五角形には四角形にない囲み感があり、六角形にはない動きと発展性がある、しかもいくつか並ぶと、大きな囲みまたは渦状の空間が生まれるという魅力的な形なのだということです。



「津山洋学五峰」レリーフ像

さらには、館内各所に備えてあるイスも五角形ですし、館のロゴマークにも五角形が使われています。ここにご紹介した物以外にも、五角形は各所にありますので、ご見学の際に探してみたいかがでしょう。



図書室備え付けのイス

植栽整備活動の実施

10月28日(土)に薬草の小径などの植栽整備を行いました。

秋晴れの下、除草と樹木の剪定を行い、すつきりときれいになりました。

今回は遠方の岡山市から駆けつけていただいた方もいらっしやいました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



職員紹介



魚谷 なつみ 主事

11月1日付で着任いたしました魚谷なつみと申します。出身は山口県で、岡山県は初めてです。町並みがすてきだなというのが第一印象でした。これまで幕末維新期を研究対象にしてきましたので、洋学資料館はとでも楽しみます。どうかよろしくお願い申し上げます。

薬草の小径から

14

ナンテン

メギ科



中国原産。ナンテン(南天)は古くから鎮咳の生薬として、また、「難転(難を転じて福となす)」に通じることから縁起木として親しまれてきました。

山本博文先生追悼講演会・シンポジウムの開催

シンポジウムの開催

10月21日(土)、津山鶴山ホテルにおいて、津山郷土博物館と津山洋学資料館の共同事業による東京大学教授山本博文先生を悼むシンポジウム「追悼津山が生んだ日本の歴史学者 山本博文先生」が、聴講者150名を集めて開催されました。

山本先生と親交のあった、共立女子大教授の堀新先生、長崎県立大教授の松尾晋一先生、東京大教授の松澤克行先生、清泉女子大准教授の福留真紀先生たちによる、山本先生との思い出や研究内容について発表。続いて、東洋大教授の岩下哲典先生進行による、トークセッションが行われました。



トークセッションでは先生方に山本先生との思い出を語っていただきました。

令和5年度後期企画展

「ペリー来航170周年記念

描かれた黒船艦隊」開催中

会期10月7日(土)～

令和6年2月18日(日)

今から170年前、ペリー率いるアメリカ艦隊の来航を契機に、日本は幕末維新へと突入していきました。この来航の時には、津山藩では箕作秋坪を浦賀へ派遣し情報収集を行わせていて、その際に作成された絵図などが絵巻物として残されています。この展覧会では、当館所蔵の資料の中から、異国船を描いた絵画資料を中心に、当時の異国船来航の様子をご紹介します。皆さま、ぜひご覧ください。



編集後記

コロナ禍で2年延期していた創立40周年記念祝賀会が無事に開催され何よりでした。

令和2年から春の総会をはじめ、研修バス旅行が中止になるなど、友の会活動の中止、縮小が続きました。しかし、制約がある中で徒歩による史跡見学を実施するなど、できることを進めてきました。今年5月に高知方面への研修バス旅行を実施し、やつと通常の活動が再開されました。長いトンネルの中を走ってきましたが、明るい出口を通り抜けました。次は史跡見学会です。楽しみです。

(A)

津山洋学資料館友の会通信

第17号

令和5年11月

編集・発行

津山洋学資料館友の会事務局

〒708-0833

津山市西新町5

津山洋学資料館内

☎ 0868-23-3324

yougaku@city.tsuyama.lg.jp